



新年のごあいさつ

皆様には、輝かしい新春を健やかに迎え
のことと謹んでお慶び申し上げます。

県議会では、新型コロナウイルス対策の更なる強化と
災害に強い県土づくりを促進し、県民の皆様の
安全・安心な暮らしを守る
のために全力で取り組ん
でまいりますので、引き
続きご理解とご協力を賜
りますようお願い申し上
げます。



金澤 忠一 議長

決算審査の概要

令和元年度山形県一般会計歳入歳出決算
など17決算及び決算に関連した4議案は、
決算特別委員会を設置して審査した結果、
12月1日の本会議において、認定・可決さ
れました。決算特別委員会の総括質疑にお
ける主な内容は次のとおりです。



自由民主党
榎津 博士 議員
寒河江市・西村山郡選挙区
10月23日

- ◆ SNSを活用したいじめ相談体制のあり方と
いじめの認知件数の傾向について
- ◆ 出生率向上に向けた子育て支援・少子化対策の
取組みについて
- ◆ 児童虐待防止対策等について



県政クラブ
青木 彰榮 議員
長井市・西置賜郡選挙区
10月23日

- ◆ 令和元年度の県政運営の評価について
- ◆ 介護職員確保対策の現状と今後の取組みについて
- ◆ 森林経営管理制度の推進について

決 議

現在、新型コロナウイルス感染症は、全国的に急速な感染拡大が進んでおり、本県においても11月から感染者が急増しています。その中において、県民は、感染拡大の防止に細心の注意を払いながら、社会経済活動の両立に向け、懸命に取り組んでいます。

こうした状況の下、感染者やその家族、学校や勤務先等に対しSNS等の媒体による匿名での心ない誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから感染者や感染経路を詮索する事例などが発生していることは憂慮すべきことです。

これらの行為は、偏見による不当な差別であり、人権擁護の観点からも看過できません。また、コロナ禍を契機として、山形県民が長い間培ってきた「思いやり」や「やさしさ」という美しい文化を失ってしまうことは、大きな損失であり、何としても防がなければなりません。

新型コロナウイルスは、気づかないうちに誰もが感染する可能性があります。今、私たちが行うべきことは、感染防止策の徹底であって感染者を誹謗中傷することではありません。医療・福祉従事者をはじめ多くの方々が困難な状況の中で頑張っています。今こそ、私たち一人ひとりが、共に支え合うことが何よりも大切なことです。

よって、本県議会は、誹謗中傷の根絶を目指すとともに、新型コロナの諸課題に真摯に取り組んでまいりますので、県民の皆さまにおかれましても、共に支え合いながら、この困難を乗り越えてまいりましょう。

誹謗中傷をなくし共に支え合う
ことにより新型コロナウイルス感染症の
克服を目指す決議

12月4日、令和2年12月定例会本会議において、
新型コロナウイルス感染症を理由とした差別や偏
見、誹謗中傷等をなくし、県民一人ひとりが共に
支え合いながら、コロナ禍の困難な時期を乗り越
えていくことを呼びかける決議を、次のとおり、
全会一致で可決しました。



決議案を説明する加賀議会運営委員長